

- 今月のピックアップ -

『厳島』

兵力わずか四千の毛利元就軍が二万八千の陶晴賢軍を打ち破った名勝負の影には、壮絶な人間ドラマがあった。「これまで誰も書きえなかった厳島合戦の全貌を描き、我が国の歴史文学の空白を埋める記念碑的作品」。

縄田一男氏絶賛！ 謀略で勝利した元就と義を貫いて敗れた晴賢。対照的な二人の武将を通して人間の矜持を問う！

(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書室

「たとえば孤独という名の嘘」

菅田哲也 著

「暁星」

「親子で楽しむほぼ無添加レシピ」

湊かなえ 著
濱村圭 著

「A-1に書けない文章を書く」

前田安正 著

「そののじいろ」

荒木健太郎文・写真・絵

「うれしたのし江戸文様」

熊谷博人文・絵

「やさしさバトン」

新井けいこ 作

3月の休室日

月曜日、祝日、
月末休室(31日)

横田コミュニティセンター図書室

「成瀬は都を駆け抜ける」

宮島未奈 著
知念実希人 著

「蒸し料理は、フライパンで」

山本りい子 著

「あらすじと写真でわかる！

はじめての歌舞伎」

利根川裕 著

「さかなをたべたあとのほね」

加藤休ミさく

「ゆたんぼさんです。」

とよたかずひこさく・え

「作業療法士の一日」

Willelこと知育研究所 編著

3月の休室日

日曜日、祝日



出雲国
たたら風土記

～鉄づくり千年が生んだ物語～

日本遺産とは平成 27 年から始まった日本各地の文化や風習、文化財などを「ストーリー」として文化庁が認定したものです。認定された「出雲国たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」語る上で欠かせない文化財として、今回は【奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観】を紹介します。

奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観は、たたら製鉄、砂鉄を採取する鉄穴(かんな)流し、そしてその跡地を利用してつくられた棚田によって形づくられてきた景観です。

鉄穴横手(水路)や鉄穴残丘が点在する棚田が広がる農山村集落は、かつてたたら製鉄用の木炭を供給していた鉄山(てつざん)の山々に囲まれています。そしてその一部では現在もたたら製鉄が行われており、この景観は日本における人々の生活や生業を理解するうえで欠かすことのできない貴重なものです。

たたら製鉄に用いる砂鉄を採取した鉄穴流しの跡地は、棚田として整備され、今も美しい姿を保っており、この棚田から生まれる「仁多米」は、西日本を代表する米として高く評価され、多くの食通を魅了しています。これらの棚田は、先人たちが築き上げた文明と自然との共生というストーリーを、現代に伝える象徴となっています。



※図書室にて寄付をいただきました。ありがとうございました。

仁多仏教会様
仁多ライオンズクラブ様